

# 令和3年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 令和3年7月27日(火) 10:30~12:00  
兵庫県民会館 「福」  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
- 2 出席者  
(委員12名) 山口委員 長ヶ原委員 平野委員 倉委員  
吉矢委員 鶴木委員 恒木委員 三上委員  
山根委員 陳委員 榎並委員 石角委員  
  
欠席：尾山委員 小林委員 角南委員  
  
(幹事12名) 小倉幹事 ○吉村幹事 藤原幹事 ○中井幹事  
○吉田幹事 ○中野幹事 村田幹事 小俵幹事  
西田幹事 北中幹事 榊幹事 田中幹事  
(○印は代理出席)  
  
欠席：杉谷幹事  
  
(陪席3名) 藤原兵庫県体育協会事務局長  
織邊スポーツ振興課参事  
田村スポーツ振興課参事  
  
(教育委員会) 西上教育長  
  
(事務局) 岡本副課長 金田主幹  
鶴野指導主事 東郷指導主事 入田指導主事  
橋口事務職員
- 3 開会あいさつ 西上教育長
- 4 委員・幹事紹介  
改選により新しく委嘱された三上委員、山根委員、角南委員が紹介された。
- 5 会長の選出  
県スポーツ推進審議会規則第2条2項により長ヶ原委員より山口委員の推薦があり、会長として承認された。
- 6 署名委員の指名 署名委員は、長ヶ原委員、石角委員に決定
- 7 前回議事録の報告  
令和2年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の審議事項(令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金について)と報告事項(令和3年度の事業概要について)の議事録について事務局より説明し、承認を受けた。

## 8 報告事項

### (1) 令和3年の事業概要について

- ① スポーツ振興課に関する事業概要について、スポーツ振興課長が報告した。
- ② 体育保健課に関する事業概要について、資料をもって報告とした。
- ③ WMG2021 推進課に関する事業概要について、WMG2021 推進課長が報告した。
- ④ ユニバーサル推進課に関する事業概要について、資料をもって報告とした。

## 9 審議事項

### (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画策定について（諮問）

西上教育長より審議会へ「第2期兵庫県スポーツ推進計画」策定についての諮問を行った。その後、各委員から意見を求めた。

#### ・兵庫県スポーツ推進計画（現行）の総括について

「兵庫県スポーツ推進計画の総括」について事務局より説明を行った、その後、各委員から意見を求めた。

#### ・兵庫県「県民スポーツ意識調査」結果について

「県民スポーツ意識調査」結果について、検討委員会で調査の監修を行った長ヶ原委員より説明を行い、承認を受けた。

### (2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画策定委員会・各部会の設置

事務局より提案し、承認を受けた。

## ■ 委員の主な意見及び事務局の説明

### 報告事項

#### <ワールドマスターズゲームズについて>

##### 【長ヶ原委員】

- オリンピックを見て、「今度は自分だ」ということで、するスポーツが変わる。マスターズフェスティバルというオープン参加の大会があるので、県として、今までにない事前イベントやPRをして、強調していただきたい。

### 審議事項

#### <「第2期兵庫県スポーツ推進計画の策定についての諮問」について>

##### 【山口会長】

- 第2期のスポーツ推進計画の策定について、諮問をいただいた。これを受け、本審議会として、今後、調査・審議を進める。

#### <兵庫県スポーツ推進計画（現行）の総括について>

##### 【山口会長】

- 本来、当初の実績値に対して、目標値が設定されたはず。最終的に出たのが令和1年度であれば、当初からどのくらい変化しているかが重要。昨年度の結果を見て、比較することではない。

##### 【事務局】

- 平成24年実績値と令和元年実績値の比較ができるように総括の資料を改めて整理をしたい。

##### 【山口会長】

- 成果が達成できているか、できていないか。過去10年間の事業が適切に行われていたかどうかというのが評価になる。最初の実績値から、どのくらい変化しているかが重要。一番分かりやすい形で見ることによって、次の新しい第2期の計画のほうに反映していきたい。

## <兵庫県「県民スポーツ意識調査」結果について>

### 【平野委員】

- 女性、ビジネスパーソンの参加促進について、県民スポーツ意識調査の13ページの女性スポーツの実施率を向上するために必要なことで、女性のパウダールームやシャワールームとか、託児所という意見が多い。また、県民スポーツ意識調査 Q19 で、運動・スポーツに関する情報源は、ほとんどインターネット・スマホ・SNSが大きく増加している。ひょうご女性スポーツの会の発信も、パウダールームとか託児の情報も、スポーツボランティアの募集等も若い方に向けては重要な方法である。

### 【事務局】

- 女性スポーツの会ではホームページの充実を、現在、検討している。

### 【榎並委員】

- 育児が一息ついて、少し運動したいという方に、託児所等が増えてくれば、参加もしやすくなる。また、育児をしている女性でも参加できるような時間帯に設定するなど工夫する必要もある。

### 【倉委員】

- 若い世代や子どもを持つお母さん方を取り込むということは、以前から伝えている。ヨガなどは、親子でもできる。子育て時期でも参加できる方法を何とか考えていただきたい。また、いままでのスポーツという概念から、柔軟に考えて、子供がいても、あるいは子供と一緒に運動する機会を持てるような方策が求められている。

### 【山口会長】

- 県民スポーツ意識調査8ページにおいて、新たにヨガ・ピラティスという種目を入れたところ、1位は18.4%と出ている。いろんな調査を見ると、女性の一番伸びているスポーツは、ヨガが一番である。

### 【陳委員】

- ヨガは盛んだ。オリンピックで中学生が金メダルをとっているのでスケートボードはすごく人気が出てくる。今後、どんどん人気が出てくると思うので、どのようにやっていくかが、一つのポイントである。

### 【事務局】

- 今、御意見をいただいたスケートボードについては、新たにオリンピック競技になったので、今後どう取り扱っていくのか、策定委員会の中で検討していく。

### 【山口会長】

- 今回の東京オリンピック2020からアーバンスポーツで、サーフィン、スケートボード、スポーツクライミングという競技が正式に加わった。IOCが若い人を引きつけたいという狙いがあり、それは見事に成功している。パリオリンピックでは、ブレイクダンスが入る。子供たちがアーバンスポーツに入ってくるということは、十分に予想されるので、いろんな事業、施策も次の計画で考えていかなければいけない。

## <全体をとおして>

### 【恒木委員】

- スポーツ実施率の数字を上げるためには、若年者から高齢者までの広い世代を想定していく。アスリートの要素は、体協が担い、スポーツ推進委員会としては、オリパラの時期を逃さずにスポーツクラブ21の見直し等につなげていきたい。

### 【三上委員】

- 障害者のスポーツというよりも、健常者と一緒にスポーツをすることで、健常者の障害者への理解につなげていくということが大変重要な課題だ。一番大事なのは連携である。加古川市のように、ひょうご障害者スポーツ指導者協議会が中心となって、スポーツ推進委員、NPO法人のスポーツクラブ、市のスポーツ・文化課、そして市の障害者支援課、社会福祉協議会といった関係機関と連携を持って、普及している。県内でもそのような活動につなげていけるように普及をしていきたい。

### 【山根委員】

- 県民スポーツ意識調査からは、新型コロナの影響によって集団スポーツから個人での活動につながっていることがわかる。昨年度は高校総体が実施されなかったが、無観客で実施され選手は感謝を感じてプレーしていると聞いている。運動の実施率については、文化部の加入率も高く、塾などもあり、運動する時間の捻出が困難となり、課題となっている。

### 【石角委員】

- 東京オリンピック 2020 の影響で、柔道をやりたいという問い合わせがあった。柔道人口が減ってきているので、増えていくことを願っている。国体での女性指導者が子供を預けるところがなく困った。女性選手も指導者もサポートできる環境作りが大切だ。

### 【鶴木委員】

- 私たちが当たり前だと思っているスポーツは、19 世紀後半に生まれて 20 世紀に広がっていった近代スポーツの影響が大きい。しかし、現在は既存の種目以外のものも少し緩やかに考えていく必要がある。新たな取組ができるような環境をつくることで、子供たちが興味を持てるようになり、子供たちの体力の変化が訪れることも感じる。また、女性の参画をまず増やして、そこからあるべき姿を考えていくことが、大事な時期にきている。

### 【吉矢委員】

- スケートボードが流行ってくると思うが、手と肘のけがが増える可能性がある。これから広がっていく中で、けがを予防する観点を入れ、しっかりとした指導者が基礎から教えることが重要である。そして、安全に広がってもらいたい。また、ヨガ・ピラティスが活動種目で増えているのは、腰と膝のけがが少なく、安全に始められるスポーツという指向が高まっている。

### 【長ヶ原委員】

- オリンピック・パラリンピック後に、ワールドマスターズがあり、盛り上がり過ぎて終わりという一過性のものにしてはいけない。例えば兵庫県がやってきたマスターズフェスティバルを残していく、あるいはその大会に障害者の参加などの受け皿が増えていくような計画にしていくことも 1 つのポイントだ。

## 10 今後のスケジュール

事務局より説明し、確認した。

## 11 閉会